

平和で明るい社会を子どもたちへ・・・

岩手県議会議員 佐藤ケイ子



県議会レポート

編集発行：岩手県議会議員 佐藤ケイ子

事務所：北上市青柳町1丁目5-39 TEL0197-72-7548 fax72-7549

自宅：北上市下江釣子16-154-3 (TEL&fax 0197-77-2126) E-mail: keiko-ktkm@poppy.ocn.ne.jp

ホームページ http://www.sato2007.com/

No.3 2016年(平成28年)11月

ご意見・ご要望等をお聞かせください。今後の政策づくりに生かしてまいります。

10月1日～10月11日

希望郷いわて国体

勇気と感動をありがとう!!

「東日本大震災復興の架け橋」「広げよう感動・伝えよう感謝」をスローガンに岩手国体が開催され、復興のシンボルと感謝を伝える大会は、岩手県選手団の活躍で大成功となりました。

北上市をはじめ県内各地の競技場で熱戦が繰り広げられ、東日本大震災、台風10号の被災地に勇気と感動をもたらしてくれました。大会を支えたすべての皆さんに感謝です。



開会式・閉会式に参列し、感激

天皇杯・皇后杯 2位の立派な成績!!

天皇杯、皇后杯とも優勝は東京、岩手県は2位。開催県の優勝が常識と言われる中で、大震災で人的にも財政的にも厳しい本県の目標は「8位以内」と異例でした。目標を大きく上回る成績に、皆さん大喜び。立派な大会運営し、競技成績も良く、県民の底力を発揮したと思います。

この力がこれからの岩手県の復興のエネルギーになること間違いなしです。

ボランティアに支えられて!!

各競技場では、県民総参加の「おもてなし」が行われました。北上市でも女性団体が日替わりで郷土料理をふるまい、大好評でした。

私は、市婦協の「いものこ汁」のおふるまいと、ソフトテニス会場でのボランティアに参加することができ、とても貴重な体験でした。



楽しいボランティアでした

北上のレガシー(遺産)!!

東日本大震災が起きた時、県は「国体断念」を表明したものの、県民各層の熱意と励みがあり、達増知事は震災の年の暮れに開催表明を出しました。復興途上でも国体が開催できたのは、1999年(平11)インターハイの遺産が県内各地に存在したことです。ほとんどの施設は改修補修で対応でき、大会役員の育成も継承されたことや、県民の「感謝とおもてなし」の心が醸成されたことも成果だったと思います。

特に北上市は、第一種陸上競技場があることで、様々な大会が開催でき、大会成功という自信と誇りが市民の「レガシー」となることでしょう。あらためて、インターハイ主会場地を誘致し、財政的に厳しい中でも陸上競技場を建設した先人に感謝です。

全国障がい者スポーツ大会

希望郷いわて大会

選手・裏方のみなさま

「お疲れさま」「ありがとう」

10月24日、3日間の日程を終え、閉会式には選手・役員・観客等18000人が参加。最後は、AKB48のメンバー16人が熱唱して大フィーバーで終了しました。



AKB48で大興奮のフィナーレ

「東日本大震災津波復興特別委員会」では、被災地を訪問調査しているが、財源の問題、地権者との協議、人材確保…様々な課題をかかえながら、区画整理事業、公共施設整備、産業復興…、盛り沢山の事業が盛んに行われており、復興にむけて頑張っている。

しかし、陸前高田市や大槌町の復興はまだまだ長い道のりと実感する。「内陸部の災害公営住宅の早期建設」という要望の一方で、「沿岸に戻す策を講じろ」という沿岸の議員の発言もあったが、被災者の気持ちに寄り添う対応が求められる。

10月13日の公表では、被災者の意向調査を行った結果、内陸災害公営住宅整備の方針が示された。

内陸部の災害公営住宅整備方針

平成30年度完成目標

盛岡市	162戸
花巻市	25戸
北上市	32戸
遠野市	14戸
奥州市	12戸
一関市	36戸
一関市(旧千賀町)	10戸
計	291戸

最大の県政課題は大震災からの復興

(震災から5年半…まだまだこれから)

「いわて復興ウォッチャー調査」(8月末公表)からみる実態

- 被災者の生活回復度実感「回復した、やや回復した」が73.8%
住宅再建の進捗を評価する一方で、復興住宅へ転居した高齢者を心配する声や、未だに仮設住宅で暮らす高齢者の強い不安も表面化している。
- 地域経済の回復度実感「回復した、やや回復した」が57.0%
地域経済は徐々に回復しているが、人口減、若者の流出、担い手不足など厳しい状況。
- 災害に強いまちづくりの達成度感「達成した、やや達成した」が42.2%
防潮堤工事や沿岸道路の整備が進んでいるものの、5年が経過する中で当初の思いが変化し、まちづくり計画への支障も懸念される状況。

県政報告会のご案内

とき 12月2日(金) 午後6時30分

ところ ホテルシティプラザ北上

意見交換会(交流会)は3,000円会費です。

メインゲスト：木戸口英司参議院議員

お席の準備の都合上、参加連絡をお願いします。

連絡先 TEL0197-72-7548 FAX0197-72-7549

皆さまのご参加をお待ちしております

岩手県議会の日程

10月27日～11月25日(9月議会・決算議会)

12月7日～12月20日(12月議会)

国体のため、

9月議会は1か月遅れて

10月27日から開催されます。

県政・市政「政策懇談会」

日時：11月19日(土) 午後5時30分～7時30分

場所：江釣子地区交流センター3階

県政・市政について、意見交換会を行います。12月県議会では一般質問をすることになっておりますので、政策要望、政策課題についてご意見をお寄せ下さい。

12月県議会一般質問 傍聴ツアー参加者募集

12月議会で一般質問します。ぜひ県議会傍聴に参加をお願いします。

12月13日か12月14日に登壇予定です。日程が決まり次第、連絡致します。

台風10号被害1456億円超

過去最大の水害被害 (岩泉・宮古・久慈)

8月30日に岩手県に上陸した台風10号は、沿岸北部に甚大な被害をもたらし、10月14日時点で死者20名、行方不明3名、住家被害約4200棟、被害総額1456億3500万円と水害被害では過去最大となった。

災害復旧が必要な土木施設は、約2400カ所と東日本大震災を上回り、今後災害査定が進めばさらに被害額は増大すると見込まれる。

甚大な被害を痛感 (9月6日)

木戸口参議院議員に同行し、会派(改革岩手)の議員と宮古、岩泉、久慈の災害現場を視察。首長から道路の復旧、ゴミ処理、財政支援等の切実な要望を受けた。

ボランティアに参加 (宮古、岩泉)

9月4日、宮古市の福祉施設で自治労の皆さんと泥掃除や片付けをした。寝具・衣類・電化製品等の生活用品すべてを廃棄し、被害の深刻さを実感。

10月8日は、岩泉町小川地区で掃除のボランティアに参加。1か月経過しても、泥出しや片付けが終わらず悲惨な状況で、多くの人手を必要としていた。

行政は復旧工事や事業再建にむけ迅速に役割を発揮すること、県民にはボランティア参加や寄付をPRする必要性を感じた。



床下の泥を出す



ボランティアをした岩泉のお宅



岩泉町長と県職員から道路決壊を聞く



岩泉の老健施設の職員から状況を聞く

台風被害、知事へ要望書提出 (10月17日)

県議会第一会派「改革岩手」(代表・高橋元議員)として、被災者の生活再建、早期復旧に特段の取り組みを求める11項目の要望書を達増知事に提出し、意見交換をした。また、10月27日開催される9月議会初日で、「災害支援を求める」国への意見書と県当局への決議が決議される予定。



補正予算1122億円、うち台風災害702億円

台風10号の復旧費702億円を含む総額約1122億2800万円の補正予算が示され、9月議会(10月27日開会)で審議される。

補正後の予算額は約1兆1799億円となる見込み。災害対応の補正予算では、東日本大震災を除けば過去最大規模となる。

9月補正予算の主な事業(台風対応分)	補正予算額
道路、橋、土木施設復旧	425億
土砂災害防止整備	77億
サケふ化施設復旧	25億
仮設住宅建設	17億
事業再開低利融資	16億
岩泉乳業施設復旧	14億
商店街復旧、観光経費	10億
生活資金貸付財源	2億
龍泉洞復旧や生活支援法対象外世帯への給付など各種支援創設	

「高齢化社会をよくする女性の会」全国大会 in 山梨に参加 (8/27)

山梨県は健康長寿日本一。戦中戦後の厳しい時代を生きた現在の高齢者はタフだけど、これから高齢になる世代は長生きできないかも…とか、高齢者問題は女性の問題という樋口恵子代表の挨拶に共感。

低栄養から要介護、介護離職から貧困、引きこもりからトラブルの例をあげ、食と職、地域のつながりが大事というパネルディスカッション。

介護利用料の負担増とサービス抑制など、国の動向も問題で深刻さを増す介護だが、自らイキイキ暮らす心構え、高齢者こそ挑戦意欲を…と元気が出る事例報告も盛りだくさんだった。



北上・和賀地区植樹祭

10月12日(西和賀町)

西和賀町と北上地方農林振興協議会等の主催で植樹祭が行われ、約120名の皆さんが参加した。沢内銀河高原奥の貝沢牧野に、「オヤマザクラ」を植栽。

岩手県企業局、トヨタ紡織東北(株)の協賛を頂き、とても立派な苗木が用意されていた。花芽もつけており、来春には花見が可能か。

西和賀町では、今後も桜の植樹エリアを拡大する計画とのことで、「本州最後の花見」をウリにしたいと期待をふくらませていた。岩手国体の年、記念になる植樹だった。



常任委員会委員会の調査研修 (県土整備委員会 9/14～9/15)

・「地方空港の黒字運営」(富士山静岡空港株)

静岡空港は平成21年開港。当時は無駄な空港と批判されたが、現在は韓国・中国各地区との定期便が好調。空港では地域イベントが多彩に開催され、地域特産物の販売と空港利用者増の相乗効果をもたらしていた。花巻空港も参考にできればと思う。

・「やまなしパワー(電力)で中小企業支援」(山梨県)

山梨県企業局は水力を中心に23発電所を運営。平成27年に東京電力と共同で「やまなしパワー」を設立。中小企業に電力単価を安く供給することによって産業支援を行っている。電力が「産業振興政策」になる時代となり、今後が期待される。



「女性都道府県議会議員の会」設立総会と研修会

8月22日(23日)(東京)

女性の都道府県議会議員は、全国で10%未満。女性の感性を生かしていくことと、生活実態の中から政策能力を高めることが求められている。そこで、地域や政党の垣根を超え、情報交換と研修でパワーをつけようと、女性議員の会が設立され、岩手県議会からは3名が参加した。

記念講演では、(株)ワークライフバランス社長の小室淑恵さんから「女性の力を活かすために」と題して、データに基づいた明快な講演をお聞きした。人口減少対策と男女平等推進のために、長時間労働の規制を強調され、業績アップ企業の事例も報告。「女性活躍推進」と言うが、政府の審議会でも超過勤務の是正を主張しているとのことで共感した。



2日目は「災害時の自治体広報」について研修があり、情報発信の効果的な事例や失敗事例の紹介があった。また、ツイッターの有効性や、議員の積極的な発信が大事だと再認識させられた。

年金カット法案

国民年金は年4万円減?
厚生年金は年14万円減?

年金改革関連法案(年金カット法案)が国会で審議されている。賃金が上がれば物価が上がっても年金を下げる。過去10年の物価と賃金を計算すると、今より5%以上も年金が減る計算だという。

安倍首相は「賃金が増える状況をつくる」と言うが、実質賃金は上がっていない。「世代間の公平」と言っても、賃金の下落や非正規雇用者に苦しんでいる時に、大幅に引き下げられた年金しか受け取れないなら現役世代は納得できるのか?

「新ルール」で年金が大幅に減るおそれ

政府提案の新ルールを当てはめた場合(平成26年度)

国民年金	年間約	4.0万円減?
		(月3,300円)
厚生年金	年間約	14.2万円減?
		(月1万1,800円)